

インターネットを通じての統計情報の提供

茨城県企画部統計課

主事 小田部昌人

昨今のパソコンの普及には目覚ましいものがあります。県庁内でも1年前と比べると明らかにデスク上にパソコンがある職員が増えています。私の周りでも、今までパソコンになかなか触れようとしなかった隣席の同僚が、時代の波に乗り遅れるなとばかりにパソコン入門講座に参加しました。今後、パソコンも車やテレビのように一家に1台どころか1人1台の時代がきて、生活の中に欠かせないものとなるかもしれません。まさに高度情報化社会の到来といえます。そのような時代に対応するため、今、統計情報の提供方法も見直しを迫られています。

これまで私どもでは、統計情報の提供方法をほとんど紙媒体に頼ってきました。過去にはFDや磁気テープによる提供もありましたが、それらは、ほんの稀な例です。各種統計調査の結果や各分野別の主な統計指標をまとめた総合統計は、全て冊子という媒体を通じて公表されてきました。

しかし、冊子による統計データの提供には限界があります。作成部数が限られるため、残念ながら、特定の利用者には統計書が届いていないのが現状です。その他の利用者は、統計データが必要になっても、そのデータの掲載されている統計書にたどり着くまでに余分な労力を要さねばなりません。

また、統計情報の利用者がデータを入手しても、独自に加工・分析するためには、データをひとつひとつパソコンに入力しなければならず、膨大な時間と手間がかかってしまいます。

これらが、せっかくの有用な統計情報をなかなか利用してもらえない一因になっているのかもしれません。

そこで、本県では統計情報を、インターネットを通じて提供するシステムを構築しました。すでに、県庁内のLANでは、5月下旬から約440万件にのぼる統計のデータベースを見ることができます。このデータベースの7割程度が8月10日からインターネットを通じて職場や家にいながらにして利用できるようになりました。

この統計情報を利用するには、まず、茨城県のホームページのメニュー画面 (<http://www.pref.ibaraki.jp/menu.htm>) にアクセスし、「統計情報」を選択すれば、自由に必要なデータを得ることができます。残念ながら、統計データをインターネットに掲載するまでに時間がかかるため、公表されたデータを即時に提供することはできませんが、これまでの紙媒体による情報提供と異なり、不特定多数の方が、必要な情報を必要な時に自由に入手することができます。また、必要な統計表をダウンロードすれば、表計算ソフトで自由に加工・分析が可能です。

これまでは、統計というと、利用者はほとんど仕事で必要な方に限られ、一般県民の方にはどうしても縁遠いものであったかもしれません。そんな県民の方がインターネットを通じて統計情報に触れていただき、少しでも統計に対する理解を深めていただければ幸いです。また、既存の利用者がさらに多角的に統計を利活用できるよう、日々刻々と変化する情報化社会に対応した統計情報の提供方法について今後も検討・改善を進めていきたいと考えています。